

みちしるべ地域生活支援事業 令和2年度 事業報告

(1) 取り組んだ事業

視覚障害者生活訓練

- ・岡山県、岡山市ならびに倉敷市の地域生活支援事業

(2) 実施体制

- ・管理者……………1名（相談支援事業管理者・岡星寮長兼務）
- ・生活訓練専門員……2名（専任）
- ・事務員……………1名（兼務）

(3) 訓練状況

◇岡山県

歩行訓練……………9名（48回）

点字訓練……………4名（55回）

パソコンその他IT訓練……9名（115回）

ADL訓練……………6名（6回）

※初回面談10回

合計227回

◇岡山市

30名の利用

継続14名 新規16名（再訓練含む）：終了15名

訓練回数 366回

例年通り、上限訓練回数をはるかに超えるニーズがあった。

◇倉敷市

13名の利用

継続5名 新規8名（再訓練含む）：終了5名

訓練回数165回

新型コロナの影響で施設入所者へは建物への入室制限などあり中断や屋外での対応となった。

(4) 概要

訓練項目としては、歩行訓練やパソコンの訓練は継続的にニーズがある。タブレット端末やスマートフォンのニーズが高まっている。

紹介元は、岡大眼科をはじめ地域の眼科、相談支援事業所、地域包括支援センター、役所や盲学校との連携も進んでいる。また、盲導犬訓練所と連携して体験会の準備も行っている。

広報活動としては、視覚障害者センター便りへの掲載や市町村役所福祉課等へチラシ持参、ラジオ出演などを行った。

福祉サービスの相談や調整などの訓練前の相談が多かった。

新型コロナの影響で施設への訪問訓練や、昨年度開始していた岡大ロービジョン外来でのアウトリーチ支援ができなくなっている。

新型コロナの影響で延期となっている第29回視覚障害リハビリテーション研究発表大会in岡山をWeb開催へと切り替え準備を行っている。